

Japan-Expertプログラム(ヘルスケアコース)入学後の学生における標準履修モデル

令和3年8月31日

	1年		2年		3年		4年		単位	
	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期		
基礎科目	Japan-Expertフレッ シュマンセミナー(1) 日本語(15)		総合科目(学問への誘い含む)(3)							19
			体育実技(柔道 1、弓道 1)							2
			英語(4)							4
			情報リテラシー(講義・演習)(2)、データサイエンス(2)							4
			看護学類以外の開設科目(9以上) 第2外国語、化学概論、物理学概論、生物学序説、心理学類、障害科学類、体育専門学群、人文学類及び比較文化学類開設科目のうち「哲学、倫理学、宗教学」分野に対応する科目、 哲学通論							9
			Japan-Expert共通科目(他コースの共通科目より選択)(1)							1
専門基礎			人体機能学(2)、人体構造学(2)、医学史(1)、医療 生命科学とテクノロジー(1)、生涯発達と家族支援 (2)、日本国憲法(2)	人間関係論(1)、心の健康と相談活動(1)、行動科 学(1)、コミュニティ・エンパワメント論(1)、人体の代 謝と栄養(1)、臨床薬理学(1)、遺伝と健康(1)、微 生物学(2)、保健統計学(2)、疫学(2)、障害理解 (1)	看護専門英語(2)、保健医療福祉行政論I・II(2)、 国際保健学(1)、医療経済学(1)、環境保健(1)				31	
			Japan-Expert総論(1) 看護学類以外の開設科目(選択10) 知識情報概論、知識情報システム概説、社会福祉経営論、文化・開発論、国際学、社会保障論、 情報社会と法制度、コンピュータシステムとネットワーク、等							11
専門科目			基礎看護学概論(1)、看護生命倫理(1)、公衆衛 生看護学概論(2)、高齢者看護学概論(1)、精神 看護学概論(1)	基本看護技術(1)、基本看護技術演習(3)、フィジカ ルアセスメント(2)、看護方法論(1)、職域における 保健活動(1)、臨床看護学概論(1)、疾病の成り立 ちと回復促進(2)、精神看護方法論(2)、ウィメンズ ヘルス看護学概論(1)、小児・発達看護学概論(1)、 子どもの健康と障害(1)、国際看護学(1)	臨床看護方法論(2)、高齢者看護方法論(2)、母性 看護方法論(2)、小児・発達看護方法論(1)、在宅 看護概論(1)、在宅看護方法論(1)、ヘルスプロ モーションと看護(1)、家族病理とメンタルヘルス (1)、看護マネジメント(1)、災害看護学(1)、研究方 法概論(2)	看護学探求概説(2) 国際ヘルスケア演習(卒業研究)(6)			46	
			国際ヘルスケア概論(1)		ヘルスケア実習I(介護施設)(4) ヘルスケア実習II(医療施設)(4)					9
単位数	16	35程度	40程度		22	16			136	

入学 ⇒

⇒ 卒業

就職先

ヘルスケア分野の政策・管理
者および研究者等
さらには健康
管理
企業
の
開
発
技
術
者
等
で
活
躍
、
教
育
者
、

自主学習 初年次教育の日本語学習に加え、卒業時まで「CEGLOC日本語教育プログラム」の履修が可能
⇒就業力のある日本語能力の獲得のため4年間継続して学習

- ・日本語を徹底的に履修(4年間通した日本語学修【CEGLOCの日本語教育】が可能)
- ・Japan-Expert総論(共通専門基礎科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・各プログラムからの推奨科目を集めたJapan-Expert共通科目(基礎科目・関連科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・国際ヘルスケア概論、国際ヘルスケア演習を新設